

助成先7団体決まる

しみん基金・こうべ公開審査

市民のボランティア活動を支援する認定NPO法人「しみん基金・こうべ」(戒正晴理事長)は26日、今年度の助成事業を決める公開審査会を神戸市中央区の市青少年会館で開いた。書類審査を通過した14団体の中から7団体が選ばれ、総額約240万円が支給される。

区)、子育て世代が安心して働ける職場作りを目指す特定非営利活動法人「リーフグリーン」(長田区)など5団体に決まった。

一方、大規模災害で被災した人々を支援するボランティア活動に限定した「特定枠」には、地震で被災した熊本県西原村の地域コミュニティ維持活動を続ける「神戸大学持続的災害支援プロジェクト Konti」(神戸市灘区)など2団体が選ばれた。

各団体が事業内容をプレゼンテーションし、審査員10人が投票で助成先を選んだ。活動を限定しない「一般枠」には、スペイン語圏出身の住民に防災や生活情報を伝える「ひょうごラテンコミュニティ」(神戸市長田区)や、神戸大空襲などの語り部活動に取り組む「神戸・こどもと教育ネットワーク」(中央

また、借り上げ復興住宅入居者への支援活動を続け、同基金が創設した第1回「黒田裕子賞」を受賞した市川英恵さん(23)の表彰式も併せて行われた。

【佐竹義浩】